

道の駅への期待

テスラモーターズ ジャパン
広報 土肥亜都子

電気自動車に乗るようになって、長距離ドライブが楽しくなり、道の駅はぐっと身近なものになりました。電気自動車の充電がなければ立ち寄らないような町にも、道の駅を見つけると、充電のついでに立ち寄って買い物したり、食堂で名物料理を食べたりして、予定外の感動や楽しみを見つけることができます。

私が乗っているのはアメリカのテスラ社製のモデルSという電気自動車で、満充電にすると500^{km}以上走ることができます。電気自動車というと長距離を走れないイメージがあると思いますが、それは間違った情報です。上手に運転すれば、長距離を走り、騒音や震動がなく、自動運転機能もついていますので、実は長距離運転に向いているクルマなのです。

電気自動車での旅は、電車+レンタカーまたはタクシーという、荷物を持って色んなことに並んだり、乗り降りしたりとい

楽しみやコミュニケーションを提供する空間に



しく思えな
かったかも
しれませ
ん。

電気自動
車の普及に
伴い、充電
ステーションとしての
ニーズはま
すます増え
ます。全国
の道の駅
で、電気自
動車の充電

う旅の面倒や、高いガソリン代への不快感から、一気に解放してくれます。道の駅への寄り道という新しい楽しみを教えてくださいましたのも電気自動車です。道の駅がなかったら、電気自動車の旅がこんなに楽

器が積極的に設置され、道の駅が「立ち寄る場所」の利便性だけでなく、「時間を過ごす場所」としての楽しみやコミュニケーションを提供してくれる空間になっていられることを期待しています。

■お知らせ

「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使っては」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらおうコーナーです。その会社などを代表して、「個人」の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部 (info@route-press21.jp) までご連絡ください。